

令和6年度 第1回伊勢原市環境対策審議会 会議録

〔事務局〕 環境対策課

〔開催日時〕 令和6年11月27日（水曜日）午後2時から3時40分まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所 3階 全員協議会室

〔出席者〕

（委員）杉山委員（会長）、武藏委員（副会長）、澤田委員、大森委員、宮垣委員、土山委員、新谷委員、森園委員、木村委員、大木委員

（事務局）伊藤環境対策課長 外3名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

〔審議の経過〕

1 開会

2 あいさつ

3 議題

（1）会長及び副会長の選出

伊勢原市環境対策審議会設置規則第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により、会長に杉山委員、副会長に武藏委員が選出された。

（2）第3次伊勢原市環境基本計画令和5年度報告書（案）について

事務局より、第3次伊勢原市環境基本計画令和5年度報告書（案）について説明の上、審議された。

（3）その他報告事項

事務局より、第四次伊勢原市役所エコオフィスプラン中間改定版と伊勢原市土地の埋立て等の規制に関する条例の廃止について報告した。

4 議題に対する意見等

第3次伊勢原市環境基本計画令和5年度報告書（案）について

（委員）東京電力パワーグリッドと協定を締結した理由は何か。また、他の新電力との取組の予定はあるか。

（事務局）脱炭素の取組を進めるにあたり、エネルギー事業者との連携が必要と考えていた。同社とはこれまでイベントや環境学習等における連携があったため、協定に至ったものである。他にもガス会社や、電力市場の安定に伴い、新電力とも施策の協議を行っている。

（委員）産業部門の脱炭素化は今後どのように考えているか。

（事務局）太陽光発電の導入に向けて県の補助制度等を周知していきたい。令和6年度は既に複数の事業者がこの補助制度を活用し導入をしている。また、太陽光の導入が難しい

事業者に対しては再エネ電力メニューへの切り替えを提案していきたい。

(委員) 今後、中小企業向けの対策もお願いしたい。

(委員) 新電力では再エネ100%電力を供給している会社もある。今後の市の考え方を聞きたい。

(事務局) 公共施設については、まずは低圧電力から、より低排出係数かつ低廉な電力調達に向けて新電力の検討を進めていきたい。市民向けについても他市の事例を参考にしながら再エネ100%電力メニューの普及促進を行っていきたい。

(委員) EVカーシェアリングの実績について伺いたい。

(事務局) 公用車としては通常の共用車以上に使用されている。休日の一般利用については月間300キロ以上走行しており、ほぼ全ての土日で使用されている。

(委員) スクミリンゴガイとは何か。また、その他害虫や生態系の対策は何かあるか。

(事務局) ジャンボタニシのことであり、主に稲が被害を受けている。他の害虫についても被害が顕在化してくれば対策を拡大していく必要がある。

(委員) ソーラーシェアリングについては今後どのように進めてくのか。

(事務局) 他自治体の事例によると、規定の収穫量が確保できないなどの問題があると聞いている。国補助金の案内等は必要に応じて行っていきたいが、現時点において取組は消極的な状況である。

(委員) 大雨などの気候変動の影響は顕在化してきている。対策の考え方について聞きたい。

(事務局) 気候変動対策は、緩和と適応の両輪で進める必要がある。現在顕在化している気候変動の影響について対策をお示しし、委員の皆様と議論して計画とした認識である。ただし、気候変動の影響は加速しているので、状況を適切に把握し、取組の見直しを図っていきたい。

(委員) キューロが厚木の森林組合に行かないと購入できないので、市内で購入しやすいようにしてほしい。例えば環境展などで販売してはどうか。

(事務局) 御意見は担当課に申し伝える。環境展の出展内容については今後調整していきたい。

(委員) ノンステップバスや青バスが少ないと感じている。市で増やすような対策は取れるのか。

(委員) 市内営業所の約90台のうち52台がノンステップもしくはワンステップのバスとなっている。車両の購入は多額であるため、順次導入を進めていきたいと考えている。青バスは現在5台運行しているが、循環経路は決まっているものであるため御理解いただきたい。

(委員) 公園愛護会の登録解除の理由はどのようなものか。

(事務局) 高齢化によるものと考えるが、担当課にも確認する。

(委員) 三井住友銀行が取得した森林について、外国資本等に転売される恐れはあるのか。

(事務局) 担当課の考えを確認し改めて回答したい。

(委員) 該当の森林の所有者は森林組合であった。森林の所有者が変わる場合は届出が必要であるのと、会社として目的があって買われたものであるため、すぐ転売するといった

可能性は低いのではと考える。

(委員) 公用車の電動化について計画はあるのか。

(事務局) 2030年の目標として共用車の30%をEVにすることを目標としている。財源等の課題もあるため保守的な目標であるが、上振れることを目指していきたい。

(委員) みどりの食料システム戦略ができたことで、市の政策で何か変化したものはあるか。

(事務局) 本計画から環境保全型農業を新たな目標として設定し、進行管理を行っている。担当課の考えについては確認し改めて回答したい。

(委員) 公害苦情について、悪臭の対応は困難と考えるが、事業者側でどのような対応が考えられるのか。

(事務局) 悪臭のほとんどが野焼きによるもので、個人からの苦情である。過去には飲食店に対して、換気口の位置を考えてもらう等の対策をしていただいたことがある。

(委員) 河川からPFOS、PFOAが検出されることはあるのか。

(事務局) 神奈川県が地下水等を測定しており、直近の令和5年度の結果によると暫定目標値以下であることが確認されている。

(委員) EV普及のため、充電器の整備についても取り組んでもらえるようお願いしたい。

(事務局) 複数の事業者とどのような導入方法が良いか協議を行っているところである。

(委員) 石鹼利用について、学校に働きかけているが、なかなか進まない。学校へのポスター掲示や子供たちに向けた啓発を増やす予定はあるか。

(事務局) 現時点では実施していないため、意見を踏まえ取組を検討していきたい。

その他報告事項

(委員) 市全体として46%削減だが、エコオフィスプラン改定前は40%であったため、改定後は50%としたという認識でよろしいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員) エコオフィスプランには公民館等は含まれていないのか。

(事務局) 公民館や学校等、すべての事務事業が含まれている。

(委員) PDCAサイクルはどのように行うのか。

(事務局) 年1回年次報告書の作成を予定しており、それに関連付けてPDCAサイクルを回すことを考えている。施策の進捗状況によっては、環境政策推進会議は都度開催することも考えている。

5 閉会